/10

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

~~様式9－1(1/2)~~

応急措置の概要（原子炉施設）　（第２４４０１報）

2023年1月26日15時08分

内閣総理大臣，原子力規制委員会，福島県知事，大熊町長，双葉町長　殿

第２５条報告

報告者名　東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者　田南　達也
連絡先　0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第２５条第２項の規定に基づき，応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原２２
特定事象の発生箇所（注１）	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻（注１）	２０１１年（平成２３年）３月１１日　１６時３６分（２４時間表示）
特定事象の種類（注１）	非常用炉心冷却装置注水不能 （原災法政令第６条第４項第４号，省令第２１条第１項ロ）
発生事象と対応の概要（注２）	（対応日時，対応の概要） プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。 ・プラント関連パラメータ　［１月２６日１１時００分現在］ ・サブドレン等　分析結果　［採取日　１月２５日］ ・集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水　分析結果　［採取日　１月２５日］ ・構内排水路　分析結果　［採取日　１月２５日］ ・護岸地下水観測孔　分析結果　［採取日　１月２３日、１月２５日］ ・海水分析結果＜港湾内、放水口付近＞　［採取日　１月２５日］ ・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。 ・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。 ・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。 ・高濃度滞留水の移送を下記のとおり実施中です。実績については明日、お知らせします。 共用サプレッションプール水サージタンク（Ａ）→集中廃棄物処理施設高温焼却炉建屋 移送開始：１１時００分 なお、１月２５日の高濃度滞留水の移送実績は以下の通りです。 共用サプレッションプール水サージタンク（Ａ）→集中廃棄物処理施設高温焼却炉建屋 移送開始：１１時００分　移送終了：１３時４７分　移送量：約４１ｍ³ ・第２４３９８報でお知らせしました地下水バイパス一時貯留タンクグループ１の排水前の循環運転時に水位上昇した件について調査を行った結果、グループ１とグループ３を連結している循環ラインの入口弁のシートパスが原因であることを確認しました。その後、当該弁の開閉操作を実施し再度、循環運転を行ったところ、水位に変動がないことを確認しました。 当該タンク水については、再度分析を行い、結果を確認したうえで排水を行う予定です。 排水予定については、別途定時報にてお知らせします。 【公表区分：その他】 ※添付の（有り）・無し
その他の事項の対応（注３）	なし

備考　この用紙の大きさは，日本産業規格Ａ４とする。
（注１）　最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所，発生時刻，種類について記載する。
（注２）　設備機器の状況，故障機器の応急復旧，拡大防止措置等の時刻，場所，内容について発生時刻順に記載する。
（注３）　緊急時対策本部の設置状況，被ばく患者発生状況等について記載する。

2/10

福島第一原子力発電所　プラント関連パラメータ

2023年1月26日 11:00現在

2023年1月26日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系： 2.5 ㎥/h CS系： 1.5 ㎥/h	給水系： 1.6 ㎥/h CS系： 0.0 ㎥/h	給水系： 1.5 ㎥/h CS系： 2.0 ㎥/h	－
原子炉圧力容器底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1) ： 15.2 ℃ 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1) ： 13.8 ℃ VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2) ： 14.6 ℃	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3) ： 24.0 ℃ RPV温度 (TE-2-3-69R) ： 25.9 ℃	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1) ： 18.3 ℃ RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1) ： 17.2 ℃	
原子炉格納容器内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A) ： 14.6 ℃ HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F) ： 14.6 ℃	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B) ： 24.4 ℃ SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1) ： 24.5 ℃	PCV温度 (TE-16-002) ： 15.9 ℃ 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1) ： 17.3 ℃	
原子炉格納容器圧力	0.40 kPa g	3.39 kPa g	0.45 kPa g	
窒素封入流量 ※3	RPV (RVH-A) ： - N㎥/h (RVH-B) ： 15.73 N㎥/h (JP-A) ： 15.57 N㎥/h (JP-B) ： - N㎥/h PCV： - N㎥/h ※4	RPV-A： 6.69 N㎥/h RPV-B： 6.59 N㎥/h PCV： - N㎥/h ※4	RPV-A： 8.52 N㎥/h RPV-B： 7.93 N㎥/h PCV： - N㎥/h ※4	
原子炉格納容器ガス管理システム排気流量	20.4 ㎥/h	14.31 N㎥/h	22.62 N㎥/h	
原子炉格納容器水素濃度 ※1	A系： 0.00 vol% B系： 0.00 vol%	A系： 0.08 vol% B系： 0.09 vol%	A系： 0.12 vol% B系： 0.13 vol%	
原子炉格納容器放射能濃度 (Xe135) ※2	A系：指示値 9.85E-04 Bq/㎤ 検出限界値 4.58E-04 B系：指示値 1.17E-03 Bq/㎤ 検出限界値 3.53E-04	A系：指示値 ND Bq/㎤ 検出限界値 1.2E-01 B系：指示値 ND Bq/㎤ 検出限界値 1.2E-01	A系：指示値 ND Bq/㎤ 検出限界値 1.9E-01 B系：指示値 ND Bq/㎤ 検出限界値 1.9E-01	
使用済燃料プール水温度	23.5 ℃	22.4 ℃	- ※5	- ※5
FPC スキマサージ タンク水位	3.26 m	4.07 m	4.40 m	43.0 ×100mm

【計測値に関する情報】
※1：指示値がマイナスの場合は0.00vol%と記載する。（水素濃度が極めて低い場合は、計器誤差によりマイナス表示される場合があるため）
原子炉格納容器ガス管理システムの水素濃度値を記載する。
※2：指示値が検出限界値未満の場合はNDと記載する。原子炉格納容器ガス管理システムの放射能濃度値（Xe135）を記載する。
※3：使用状態の温度・圧力で流量補正した値を記載する。
※4：窒素封入停止中
※5：全燃料取り出し完了につき監視対象外

【留意事項】
各計器類については、地震やその後の事象進展の影響を受けて、通常の使用環境条件を超えているものもあり、正しく測定されていない可能性のある計器類も存在している。プラントの状況を把握するために、このような計器の不確かさも考慮したうえで、複数の計器類から得られる情報を使用して変化の傾向にも着目して総合的に判断している。

3/10

2023年1月26日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

サブドレン等　分析結果（γ）

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1号機サブドレン	2023/1/25 6:45	< 3.9E+00	< 4.0E+00	7.5E+01
2号機サブドレン	2023/01/25 06:40	< 3.1E+01	1.8E+02	7.7E+03
3号機サブドレン	2023/01/25 06:50	< 4.8E+00	< 4.1E+00	< 5.3E+00
4号機サブドレン	2023/01/25 06:55	< 4.2E+00	< 5.6E+00	< 4.6E+00
5号機サブドレン	—	—	—	—
6号機サブドレン	—	—	—	—
構内深井戸	—	—	—	—

・核種毎の半減期：I-131(約8日), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
・不等号（＜：小なり）は，検出限界値未満（ND)を表す。
・測定対象外および採取中止の項目は「－」と記す。
・○.○E±○とは，○.○×10$^{\pm○}$であることを意味する。
（例）3.1E+01は3.1×10^{1}で31，3.1E+00は3.1×10^{0}で3.1，3.1E−01は3.1×10^{-1}で0.31と読む。

2023年1月26日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水　分析結果（γ）

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
4号T/B建屋南東	2023/01/25 06:55	< 4.2E+00	< 5.6E+00	< 4.6E+00
プロセス主建屋北東	2023/01/25 07:05	< 3.7E+00	< 2.8E+00	< 3.9E+00
プロセス主建屋南東	2023/01/25 07:11	< 7.0E+00	< 4.5E+00	< 3.4E+00
雑固体廃棄物減容処理建屋南	2023/01/25 07:36	< 3.9E+00	< 4.6E+00	< 5.0E+00
サイトバンカ建屋南西	－	－	－	－
焼却工作建屋西側	2023/01/25 07:29	< 5.2E+00	< 5.0E+00	4.1E+01
雑固体廃棄物減容処理建屋北	2023/01/25 07:44	< 5.1E+00	< 4.1E+00	< 5.0E+00
サイトバンカ建屋南東	2023/01/25 07:18	< 4.9E+00	< 3.8E+00	< 3.4E+00

・核種毎の半減期：I-131(約8日)，Cs-134(約2年)，Cs-137(約30年)
・不等号（<：小なり）は，検出限界値未満（ND)を表す。
・測定対象外および採取中止の項目は「－」と記す。
・○.○E±○とは，○.○×$10^{\pm○}$であることを意味する。
（例）3.1E+01は3.1×10^{1}で31，3.1E+00は3.1×10^{0}で3.1，3.1E−01は3.1×10^{-1}で0.31と読む。
・サイトバンカ建屋南西は，1回／週程度の頻度で分析を実施。

2023年1月26日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

構内排水路　分析結果（全β・γ）

採取地点	採取日時	分析項目 全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2023/01/25 07:15	< 3.3E+00	< 5.4E-01	1.8E+00
物揚場排水路	2023/01/25 07:25	< 3.3E+00	< 4.4E-01	7.7E-01
K排水路	2023/01/25 06:00	4.7E+00	< 4.6E-01	4.6E+00
BC排水路	2023/01/25 06:00	< 2.5E+00	< 4.7E-01	< 6.9E-01
D排水路	2023/01/25 07:20	< 3.3E+00	< 6.2E-01	< 5.3E-01
5,6号機排水路※1	—	—	—	—

・核種毎の半減期：Cs-134(約2年)，Cs-137(約30年)
・不等号（＜：小なり）は，検出限界値未満（ND)を表す。
・測定対象外および採取中止の項目は「－」と記す。
・○.○E±○とは，○.○×$10^{\pm○}$であることを意味する。
（例）3.1E+01は3.1×10^{1}で31，3.1E+00は3.1×10^{0}で3.1，3.1E−01は3.1×10^{-1}で0.31と読む。
・採取当日の降雨量は0 mm
・排水路流量情報は，解析中のため後日公表する。
※1　5,6号機排水路は１回/月に分析を実施。

6/10

2023年1月26日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

護岸地下水観測孔　分析結果（全β・γ・塩素）

（1/2）

採取地点	採取日時	分析項目							
		全β (Bq/L)	その他γ線放出核種				Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)
			Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)			
No.0-1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.0-1-2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.0-2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.0-3-1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.0-3-2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.0-4	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.1-6	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.1-8	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.1-9 ※1	2023/01/25 06:55	4.5E+01	—	—	—	—	—	—	8.2E+01
No.1-11	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.1-12	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.1-14	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.1-16	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.1-17	—	—	—	—	—	—	—	—	—

・核種毎の半減期：Mn-54(約310日)，Co-60(約5年)，Ru-106(約370日)，Sb-125(約3年)，Cs-134(約2年)，Cs-137(約30年)
・不等号（＜：小なり）は，検出限界値未満（ND)を表す。
・測定対象外および採取中止の項目は「－」と記す。
・O.OE±Oとは，O.O×$10^{\pm O}$であることを意味する。
（例）3.1E+01は3.1×10^{1}で31，3.1E+00は3.1×10^{0}で3.1，3.1E−01は3.1×10^{-1}で0.31と読む。
※1　No.1-9は，採水器による採取であるため，γ測定は実施せず。全βは参考値として3過後に測定。

護岸地下水観測孔　分析結果（全β・γ・塩素）

(2/2)

採取地点	採取日時	分析項目							
		全β (Bq/L)	その他γ線放出核種 Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)
1,2号機ウェルポイント汲み上げ水	－	－	－	－	－	－	－	－	－
No.2	－	－	－	－	－	－	－	－	－
No.2-2	－	－	－	－	－	－	－	－	－
No.2-3	－	－	－	－	－	－	－	－	－
No.2-5 ※2	－	－	－	－	－	－	－	－	－
No.2-6	2023/01/25 07:05	6.4E+02	< 2.7E-01	< 3.0E-01	< 2.5E+00	< 1.0E+00	< 2.9E-01	2.4E+00	－
No.2-7	2023/01/25 07:00	3.8E+02	< 2.1E-01	< 3.0E-01	< 2.1E+00	< 8.8E-01	< 2.9E-01	1.3E+00	5.2E+02
No.2-8	－	－	－	－	－	－	－	－	－
2,3号機改修ウェル汲み上げ水	－	－	－	－	－	－	－	－	－
No.3	－	－	－	－	－	－	－	－	－
No.3-2	－	－	－	－	－	－	－	－	－
No.3-3	－	－	－	－	－	－	－	－	－
No.3-4	－	－	－	－	－	－	－	－	－
No.3-5 ※2	－	－	－	－	－	－	－	－	－
3,4号機改修ウェル汲み上げ水	－	－	－	－	－	－	－	－	－

・核種毎の半減期：Mn-54(約310日), Co-60(約5年), Ru-106(約370日), Sb-125(約3年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
・不等号（<：小なり）は，検出限界値未満（ND)を表す。
・測定対象外および採取中止の項目は「－」と記す。
・○.○E±○とは，○.○×10$^{\pm○}$であることを意味する。
（例）3.1E+01は3.1×10^{1}で31，3.1E+00は3.1×10^{0}で3.1，3.1E−01は3.1×10^{-1}で0.31と読む。
※2　No.2-5，No.3-5は，採水器による採取であるため，γ測定は実施せず。全βは参考値としてろ過後に測定。

8/10

2023年1月26日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

護岸地下水観測孔　分析結果（全β・H-3・γ・塩素）

(1/2)

採取地点	採取日時	分析項目								
				その他γ線放出核種						
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)
No.0-1	2023/01/23 07:09	9.8E+01	7.5E+03	< 1.7E+00	< 2.5E+00	< 1.2E+01	< 5.6E+00	< 1.6E+00	2.1E+01	―
No.0-1-2	2023/01/23 07:05	2.5E+01	1.1E+04	< 3.2E-01	< 4.0E-01	< 3.6E+00	< 1.3E+00	< 3.8E-01	2.7E+00	―
No.0-2	2023/01/23 07:00	< 1.2E+01	2.7E+02	< 3.3E-01	< 3.3E-01	< 3.3E+00	< 1.2E+00	< 4.0E-01	4.5E-01	―
No.0-3-1	2023/01/23 07:19	< 1.2E+01	< 1.1E+02	< 2.3E-01	< 2.4E-01	< 2.0E+00	< 8.6E-01	< 2.7E-01	1.2E+00	―
No.0-3-2	2023/01/23 07:14	< 1.2E+01	1.4E+04	< 3.5E-01	< 3.0E-01	< 2.7E+00	< 1.0E+00	< 3.2E-01	5.0E-01	―
No.0-4	2023/01/23 06:55	< 1.2E+01	6.1E+03	< 3.3E-01	< 3.9E-01	< 2.2E+00	< 9.3E-01	< 3.0E-01	< 4.2E-01	―
No.1	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
No.1-6	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
No.1-8	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
No.1-9 ※1	2023/01/23 07:25	5.3E+01	5.7E+02	―	―	―	―	―	―	8.2E+01
No.1-11	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
No.1-12	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
No.1-14	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
No.1-16	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
No.1-17	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―

・核種毎の半減期：H-3(約12年)，Mn-54(約310日)，Co-60(約5年)，Ru-106(約370日)，Sb-125(約3年)，Cs-134(約2年)，Cs-137(約30年)
・不等号（＜：小なり）は，検出限界値未満（ND)を表す。
・測定対象外および採取中止の項目は「－」と記す。
・○.○E±○とは，○.○×10$^{\pm○}$であることを意味する。
(例) 3.1E+01は3.1×10^{1}で31，3.1E+00は3.1×10^{0}で3.1，3.1E－01は3.1×10^{-1}で0.31と読む。
・H-3以外は既にお知らせ済み。
※1　No.1-9は，採水器による採取であるため，γ測定は実施せず。全βは参考値としてろ過後に測定。

9/10

護岸地下水観測孔　分析結果（全β・H-3・γ・塩素）

(2/2)

採取地点	採取日時	分析項目								
				その他γ線放出核種						
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)
1,2号機ウェルポイント汲み上げ水	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2	2023/01/23 07:55	2.2E+02	2.4E+02	< 2.8E-01	< 3.9E-01	< 3.0E+00	< 1.3E+00	< 3.3E-01	6.1E-01	—
No.2-2	2023/01/23 07:50	1.6E+02	2.6E+02	< 1.7E+00	< 2.2E+00	< 2.0E+01	< 6.4E+00	< 2.8E+00	5.4E+01	—
No.2-3	2023/01/23 07:45	3.8E+04	4.3E+03	< 3.6E-01	< 4.0E-01	< 4.2E+00	< 1.4E+00	< 4.6E-01	1.4E+00	—
No.2-5 ※2	2023/01/23 07:40	6.3E+05	5.7E+02	—	—	—	—	—	—	—
No.2-6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2-7	2023/01/23 07:35	3.5E+02	1.8E+03	< 3.1E-01	< 3.8E-01	< 2.5E+00	< 1.0E+00	< 2.9E-01	8.9E-01	5.9E+02
No.2-8	2023/01/23 07:30	4.4E+03	4.7E+02	< 2.7E-01	< 3.3E-01	< 2.6E+00	< 1.1E+00	< 4.5E-01	3.2E+00	—
2,3号機改修ウェル汲み上げ水	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.3-2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.3-3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.3-4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.3-5 ※2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3,4号機改修ウェル汲み上げ水	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

・核種毎の半減期：H-3(約12年)、Mn-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約370日)、Sb-125(約3年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号（<：小なり）は、検出限界値未満（ND）を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・○.○E±○とは、○.○×$10^{\pm○}$であることを意味する。

（例）3.1E+01は3.1×10^{1}で31、3.1E+00は3.1×10^{0}で3.1、3.1E−01は3.1×10^{-1}で0.31と読む。

・H-3以外は既にお知らせ済み。

※2　No.2-5、No.3-5は、採水器による採取であるため、γ測定は実施せず。全βは参考値としてろ過後に測定。

10/10

2023年1月26日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

海水分析結果<港湾内，放水口付近>（全β・γ）

試料名称	採取日時	分析項目 全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2023/01/25 07:45	—	＜ 7.5E-01	＜ 6.8E-01
1F 6号機取水口前	2023/01/25 07:35	1.3E+01	＜ 2.9E-01	＜ 2.9E-01
1F 物揚場前	2023/01/25 07:10	＜ 1.1E+01	＜ 2.8E-01	＜ 3.0E-01
1F 1～4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	2023/01/25 07:05	＜ 1.1E+01	＜ 3.7E-01	1.4E+00
1F 1～4号機取水口内南側 (遮水壁前)	2023/01/25 07:00	1.4E+01	＜ 3.4E-01	4.5E+00
1F 南放水口付近 (T-2) ※	2023/01/25 06:18	9.8E+00	＜ 6.6E-01	＜ 8.7E-01
1F 港湾口 (T-0)	採取中止	—	—	—
1F 港湾中央	採取中止	—	—	—
1F 港湾内東側	採取中止	—	—	—
1F 港湾内西側	採取中止	—	—	—
1F 港湾内北側	採取中止	—	—	—
1F 港湾内南側	採取中止	—	—	—
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	—	—	—	—
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	—	—	—	—
1F 港湾口東側 (T-0-2)	—	—	—	—
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	—	—	—	—
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	—	—	—	—
WHOの飲料水水質ガイドライン※1		／	1.0E+01	1.0E+01

・核種毎の半減期：Cs-134(約2年)，Cs-137(約30年)
・不等号（＜：小なり）は，検出限界値未満（ND)を表す。
・測定対象外および採取中止の項目は「－」と記す。
・○.○E±○とは，○.○×$10^{\pm○}$であることを意味する。
（例）3.1E+01は3.1×10^{1}で31，3.1E+00は3.1×10^{0}で3.1，3.1E−01は3.1×10^{-1}で0.31と読む。
・物揚場前は，シルトフェンス開閉を行った日は開閉実施後にもサンプリングを実施。
※1 WHOの飲料水水質ガイドラインにおける，Cs-134，Cs-137の指標
・分析結果の評価については「福島第一原子力発電所の状況について（日報）」を参照 https://www.tepco.co.jp/press/report/
・採取中止理由：悪天候のため
※試料採取作業の安全確保ができないため、採取地点を１～４号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

1/1

~~様式９－１（１／２）~~

応急措置の概要（原子炉施設）　（第２４４０２報）

2023 年 1 月 26日 15 時 08 分

内閣総理大臣，原子力規制委員会，福島県知事，大熊町長，双葉町長　殿

第２５条報告

報告者名　東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者　田南　達也
連絡先　0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第２５条第２項の規定に基づき，応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原２２
特定事象の発生箇所（注１）	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻（注１）	２０１１年（平成２３年）３月１１日　１６時３６分（２４時間表示）
特定事象の種類（注１）	非常用炉心冷却装置注水不能 （原災法政令第６条第４項第４号，省令第２１条第１項ロ）
発生事象と対応の概要（注２）	（対応日時，対応の概要） １号機の原子炉格納容器の水位については、今後の水中ＲＯＶによる調査再開の準備として、原子炉への注水量を以下のとおり増加させます。 また、調査終了後には準備が整い次第、原子炉への注水量を以下のとおり減少させます。 ＜原子炉注水変更予定＞ （１月２７日）注水量増加操作 原子炉注水量　：４．０ｍ³／ｈ→６．０ｍ³／ｈ （調査終了後）注水量減少操作 原子炉注水量　：６．０ｍ³／ｈ→４．０ｍ³／ｈ なお、今後、水位の傾向を見ながら微調整のための流量調整（－０．５ｍ³／ｈ～＋０．５ｍ³／ｈ程度）を行います。 流量調整を実施した際には、実施の都度、流量調整の実績をお知らせします。 引き続き、水位計および関連パラメータについて、慎重に監視してまいります。 【公表区分：Ｅ】 ※添付の有り（無し）
その他の事項の対応（注３）	なし

備考　この用紙の大きさは，日本産業規格Ａ４とする。
（注１）　最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所，発生時刻，種類について記載する。
（注２）　設備機器の状況，故障機器の応急復旧，拡大防止措置等の時刻，場所，内容について発生時刻順に記載する。
（注３）　緊急時対策本部の設置状況，被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

~~様式９－１（１／２）~~

応急措置の概要（原子炉施設）　（第２４４０３報）

2023年1月26日17時30分

内閣総理大臣，原子力規制委員会，福島県知事，大熊町長，双葉町長　殿

第２５条報告

報告者名　東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者　田南　達也
連絡先　0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第２５条第２項の規定に基づき，応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原２２
特定事象の発生箇所（注１）	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻（注１）	２０１１年（平成２３年）３月１１日　１６時３６分（２４時間表示）
特定事象の種類（注１）	非常用炉心冷却装置注水不能 （原災法政令第６条第４項第４号，省令第２１条第１項ロ）
発生事象と対応の概要（注２）	（対応日時，対応の概要） 第２４３９８報でお知らせしたとおり、サブドレン他水処理施設一時貯水タンクＦに貯水していた水について、本日以下のとおり排水を実施しました。 ・排水開始　：　１０時３５分 ・排水終了　：　１５時０１分 ・排水量　：　６５９m^3 排水状況については、漏えい等の異常がないことを確認しております。 【公表区分：Ｅ】 ※添付の有り・無し（無しに丸印）
その他の事項の対応（注３）	なし

備考　この用紙の大きさは，日本産業規格Ａ４とする。
（注１）　最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所，発生時刻，種類について記載する。
（注２）　設備機器の状況，故障機器の応急復旧，拡大防止措置等の時刻，場所，内容について発生時刻順に記載する。
（注３）　緊急時対策本部の設置状況，被ばく患者発生状況等について記載する。